

## 「ろうきん森の学校フェスティバル」

2025年10月25日(土)、スタッフ含め330名が参加して開催！

県労福協はNPO法人ひろしま自然学校と合同で、開校20周年となる「ろうきん森の学校フェスティバル」を開催しました。

雨天での開催となりましたが、スタッフも含めた参加者は330人に上り、皆さんに楽しんでいただけました。



### 広島修道大学の学生がスタッフとして参加！

県労福協の活動方針の一つに掲げている「若い世代とのつながり」を模索する試みとして、広島修道大学の学生8人がボランティアで参加、各コーナーでスタッフとしてお手伝いしていただきました。



### 今年の昼食は、ハヤシライスも

昼食には、広島県労働会館の用意するお弁当のほか、自然学校スタッフによるハヤシライスを提供していただきました。



### 「スタンプラリー」雨でも人気！

会場内を回ってスタンプを集めた家族連れが抽選機を回し、賞品が当たる度に大きな歓声が上がっていました。



### 福島県の郷土玩具づくり

「福島県の魅力を発信！」福島県のNPO法人0073（おおなみ）が今年も参加、お米の試食と芋菓子などの販売に加え、今年は郷土玩具の「あかべこ」の絵付け体験を行い参加者に喜んでもらうことができました。



### ユニークなアトラクション！「おこめガチャ」

ひろしま自然学校開校20周年を記念して巨大な木製のガチャが登場しました。カプセルの中には地元北広島産のお米200グラムが入っており、ガチャをまわす子どもたちも大はしゃぎ、お父さん、お母さんも大喜びでした。



2026  
年度

# 「勤労者福祉の拡充・強化に関する要請書」を県に提出

県労福協は、2025年10月29日(水)、広島県庁を訪れ、地方の課題や県労福協・福祉事業団体の独自要求をまとめた「2026年度勤労者福祉の拡充・強化に関する要請書」を久光会長から梅田商工労働局長に手交しました。

要請には、広島県から梅田商工労働局長他4名、広島県労福協から久光会長他5名が出席しました。

冒頭、久光会長から県労福協の諸活動に対して、広島県の職員のみなさんにはご理解とご協力をいたいでいることに対して感謝の意を申しあげました。

続けて、県労福協は労働団体と連携して、各福祉事業団体と力を合わせ、「貧困や社会的排除がなく、人と人のつながりが大切にされ、平和で安心して暮らせる持続可能な社会の実現」を目指して運動に取り組んでいるので、各福祉事業団体からの要請も含め、次年度の予算に反映していただきたいと挨拶しました。

次に、平岡事務局長が労福協関連項目について説明し、中国労働金庫、こくみん共済 coop、(一社)広島県労働会館からも、それぞれ要請を行いました。

梅田局長からは、「要請内容について関係部局と協議の上、年明けに回答させていただきたい」と回答があり、今年度の要請を終えました。



## 【要請内容の骨子】

### I. 県労福協活動関連項目

- (1) 広島県勤労者福祉対策費補助金について
- (2) 大規模災害等に備えての防災・減災対策の強化について
- (3) 格差是正、貧困のない社会に向けたセーフティネットの充実について
- (4) 安心・信頼できる社会保障の構築
- (5) 協同組合の促進・支援
- (6) 消費者被害の防止と多重債務対策の強化

### II. 自殺対策事業に対する支援要請について

### III. 福祉事業団体関連項目

- (1) 中国労働金庫からの要請について
- (2) こくみん共済 coopからの要請について
- (3) (一社)広島県労働会館からの要請について



## 滋野氏・谷口氏 令和7年度「勤労者福祉功労知事表彰」受賞

令和7年度「勤労者福祉功労知事表彰式」が、11月17日(月)県庁北館で行われ、山根広島県副知事から、滋野和義氏(全イズミ労働組合)と谷口英男氏(三菱重工労働組合広島支部)両名に表彰状が授与されました。



「勤労者福祉功労知事表彰」では、長年、勤労者福祉の増進や中小企業の労働福祉の向上に積極的に取り組み、その功績が顕著で、他の模範と認められる個人・団体が表彰されます。



表彰を受けたお二人は、新年1月6日(火)に開催される「連合広島・広島県労福協 2026年新春旗開き・賀詞交歓会」でみなさんに披露されます。



## 西部労福協「第43回研究集会」今年は山口で開催！ テーマ:「持続可能な社会」

2025年11月6日(木)、西部労福協「第43回研究集会」が山口市の「かめ福オンプレイス」で開催され、中四国から71名、広島からは7名が参加しました。



講演1では、山口大学国際総合科学部教授の杉井学氏より、「Well-beingな暮らしにつながるDXとは」と題した講演をいただきました。

続いて、山口大学経済学部教授の鍋山祥子氏を講師として、「持続可能な地域社会のあり方を考える－人口減少・高齢化と家族の変容のなかで－」と題した講演をいただきました。



## 中央労福協『第67回定期総会』開催

2025年11月21日(金)、中央労福協の第67回定期総会が開催されました。

冒頭、中央労福協 芳野会長が挨拶を行い、続いて議長に椎山代議員(南部労福協)・杉山代議員(日本労信協)を選出し、議案審議に入りました。

会議では、第1号議案「2025年度活動報告」をはじめ、「2025年度会計決算報告および会計監査報告」、「2025年度一般会計収支差額処分(案)」、「2026~27年度の活動方針(案)」、「2026年度予算(案)」が提案され、すべての議案が満場一致で承認されました。

「持続可能な労福協運動の展開に向けた取り組み」

として、会議運営のあり方および幹事会における全加盟団体からの幹事選出など、労福協の掲げる「2030ビジョン」実現に向けて態勢を整え、協同組合運動・労働者福祉運動の発展や地域でのつながりをめざし、加盟団体や関係団体と連携した取組みを強化・実施することが確認されました。



## 広島修道大学で行われた『連合広島寄付講座』で 県労福協の久光会長が講義!!



連合広島が広島修道大学で実施している「連合広島寄付講座」が、2025年10月23日(木)に開講され、久光県労福協会長が講師として「労働者自主福祉運動の取り組み」をテーマに講義を行いました。

講義には180名を超える学生が聴講し、熱心に耳を傾けました。講義は、動画も使用して「福祉」や「労働者福祉」を考えることから始まり、福祉事業団体の生い立ちや中央労福協・広島県労福協の取り組みを紹介、現在は「教育費負担軽減

や奨学金制度改善」を重点課題として取り組んでいることを説明しました。

最後に、「同質の協力は和にしかならないが、異質の協力は積(掛け算)になる」という言葉を紹介し、「多種多様な方面と『つながる』ことの大切さ」を強調して、講義を終えました。

聴講した学生のみなさんには、講義の中でアンケート提出をお願いしており、「地域でつながるとしたら、どんな活動に興味がありますか?」と質問したところ、「地域の祭り、清掃やフードドライブなどのボランティア活動」といった意見が多く寄せられました。

# 地区労福協だより

## 【府中地区労福協】「勤労者福祉政策協議会」

2025年10月30日(木)に府中市の「季節料理 まさご」にて15名の参加で開催しました。府中市から平野副市長、神石高原町から入江町長が参加されました。

西林会長の挨拶の後に「勤労者福祉および生活向上に関する要請について」意見交換を行いました。27項目の要請に対する回答を事前にいただいており、勤労者福祉と生活向上の観点に立った有意義な意見交換を行うことができました。



## 「親睦ビーチボールバレー大会」

2025年10月26日(日)に親睦ビーチボールバレー大会を開催しました。16チームで総勢95名の参加がありました。開始早々大きな歓声があがり続け、会員相互の親睦を図る1日となりました。



## 【賀茂豊田地区労福協】「勤労者福祉政策協議会」

2025年10月27日(月)東広島市芸術文化ホール「くらら」において「第27回賀茂地区勤労者福祉政策協議会」を開催しました。

連合賀茂豊田地区連絡会・中国労働金庫西条支店・こくみん共済 coop 東広島推進本部・東広島市の各団体から代表者が一堂に会し、①賀茂豊田地区労福協活動報告および今後の取組みについて、②東広島市の勤労者福祉政策の概要について、③令和8年度預託金要請および中国労働金庫の事業推進について、④こくみん共済 coop の事業推進について報告するとともに、地域の勤労者福祉のあり方や今後の活動の進め方について意見交換を行いました。



## 「生活向上サポート事業：家計の見直し・保障設計運動の展開に向けて」

2025年10月4日(土)、「家計の見直し・保障設計運動の展開に向けて」と題したセミナーを開催し、各単組役員など34名が参加しました。

講師には、FP ユニオン Labo より吉上美枝子氏を迎え、現在の社会状況を踏まえながら家計の見直しを行う意義を考え、具体的な事例をもとにローンの見直しや保障の見直しから資産形成につなげていくことの重要性を学びました。

受講した内容を各単組に持ち帰り、<ろうきん><こくみん共済 coop >との連携のもと組合員の生活向上に繋げていく取組みを展開することを確認し終了しました。

## 【備北地区労福協】「会員交流イベント：くだもの狩り」

2025年10月4日(土)、恒例の「くだもの狩り」を総勢154名の組合員とそのご家族が参加して三次市の平田観光農園で開催しました。

開会式までは小雨が降っていましたが、式が終わるころには雨もやみ、予定どおり「くだもの狩り」を楽しむことができました。

園内では三次市特産のピオーネをはじめ、マスカット、りんご、梨などの収穫体験ができ、子どもたちの笑顔があふれました。家族や仲間と過ごす楽しい時間となり、参加者からは「また参加したい」「家族で参加できてよかったです」との声が多く寄せられました。



## 【三原地区労福協】「グラウンドゴルフ大会」

2025年11月15日(土)、地区におけるスポーツ交流行事の一環として、御調グラウンドゴルフ場・尾道ふれあいの里で会員並びに家族総勢64名参加のもと、グラウンドゴルフ大会を盛大に開催しました。

当日の準備・運営は、役員とろうきん友の会で役割分担しながら取り進め、会員同士や組織・家族間で和気あいあいと楽しくプレーし、大変盛り上がりいました。

また、表彰式・昼食会の場を活用して、中国労働金庫・こくみん共済 coop の事業推進 PRなどを実施し、会員相互の親睦と交流を図るとともに、福祉事業団体の利用促進への一助にも繋げました。





# お役立ちを届けよう！ 「高校生のための消費者講座」開催



中国労働金庫 中部エリア営業本部

11月18日(火)13時30分より広島県立高陽東高等学校 1年生（6クラス240名）に向けて、ろうきん職員 6名が講師となり、高校生のための消費者講座を開催しました。6名講師の一斉講義は初めての試みではありましたが、無事時間内に終えることが出来ました。



とことん！  
やっちゃんえ広島じやけん!!



こくみん共済 coop からのお知らせ

こくみん共済 NEWS

3425W005

## 引き続き社会貢献プロジェクトの取り組みを行っていきます！

その1

## 7才の交通安全プロジェクト



マイカー共済のお見積もり 1 件につき 1 本の横断旗を全国の児童館などに寄贈しています。

これまでに **155 万本** の横断旗を全国の児童館、交通安全協会、教育委員会、

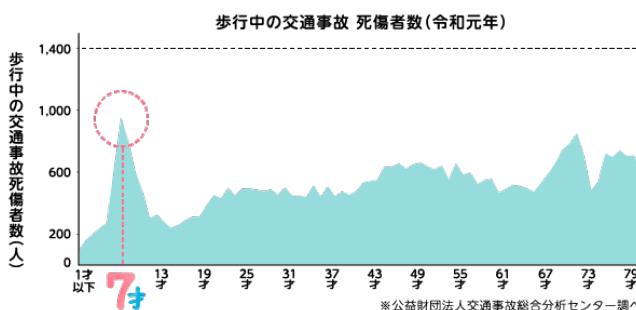
小学校、幼稚園などに寄贈してきました。

寄贈された横断旗は全国の子どもたちを守る活動につながっています。

## &lt;寄贈実績&gt;

- 全国の小学校 **6,838 校**
- 全国の児童館 **4,485 カ所**
- 全国の私立保育園 **388 カ所**
- 東京都交通安全協会 **25 カ所** 等

7才の子どもたちは、他の年齢に比べて突出して交通事故に遭いやすいというデータがあります。



その2

## こどもの成長応援プロジェクト

こくみん共済こども保障タイプのご加入 1 件につき  
1 本のなわとび・長なわを寄贈しています。  
これまでに約 **27 万本** のなわとび・長なわを  
全国の児童館・小学校などに寄贈してきました。

## &lt;寄贈実績&gt;

児童館 **6,335 カ所** 等



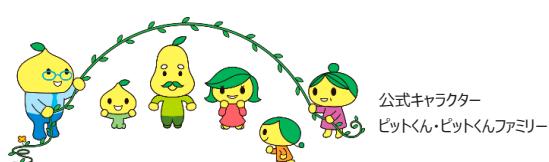
その3

## みんなで被災地応援プロジェクト

住まいの共済の見積もり 1 件につき  
100 円を被災地で復旧支援活動を行う  
ボランティア（支援）団体に寄付しています。  
これまでに約 **926 万円** の寄付を行いました。

## 【寄付の内訳】

令和6年能登半島地震 復興支援助成	2,000,000円
日本赤十字社活動資金	3,630,650円
全国社会福祉協議会	3,630,650円
合計	9,261,300円



こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP

(広島県労働者共済生活協同組合)

「こくみん共済 coop」は、営利目的しない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただき、組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。



(一社)広島県労働会館からのお知らせ

秋の夜、  
香りと笑顔に酔うー

## みやび恒例「秋のSAKEまつり」開催!

10月31日(金)、福山のみやびにて恒例の「秋のSAKEまつり」が盛大に開催され、労福協会員様を中心約130名の皆様にご参加いただきました。全国各地の日本酒・焼酎がずらりと並ぶ会場は、芳醇な香りと華やかな雰囲気に包まれ、秋の夜にふさわしい贅沢なひとときが広がりました。

### 日本酒コーナー：大吟醸飲みくらべ10選

「獺祭 三割九分」「久保田萬寿」など、選りすぐりの銘酒が勢ぞろい。香り・味・余韻をじっくり確かめながら、蔵元の個性を堪能する来場者の姿が印象的でした。「同じ大吟醸でもまったく違う味わいで驚いた」「どれもおいしくて選べない！」



### 焼酎・ドリンクコーナーも充実 料理コーナー、みやび特製の逸品が勢ぞろい

芋・麦などの焼酎に加え、生ビールやハイボールなど多彩なドリンクを提供。お好みに合わせて楽しめるラインナップが好評でした。季節の料理や黒カレー、目の前で切り分けるローストビーフなど、料理人の技が光る逸品に舌鼓。豪華景品が当たる抽選会では、番号が呼ばれるたびに歓声と拍手が沸き上がり、会場は笑顔に包まれました。

### 安心の無料送迎バス

福山駅からの無料送迎バスも運行され、初参加の方からも「安心して楽しめた」との声が多数寄せられました。

### 次回開催は来春予定！

新たな銘酒との出会いを、どうぞお楽しみに。

